

4 令和2年度予算における「かわさき10年戦略」の主な事業

川崎市総合計画における「かわさき10年戦略」では、まちに活気や活力をもたらす「成長」、市民に安心やうるおいを与え、まちに対する愛着を育てる「成熟」、成長と成熟の好循環を支える「基盤」づくりの3つの視点で、7つの戦略を設定しています。

ここでは、令和2年度予算におけるそれぞれの戦略の主な事業を紹介します。

また、本市は、SDGs^(※)の達成に寄与する取組を進めています。SDGsに関連する取組については、29ページを参照してください。

※SDGs：国連において採択された、先進国と開発途上国が共に取り組むべき「持続可能な開発目標」です。

戦略1 「みんなで守る強くしなやかなまち」をめざす

～自然災害への的確な備えや日常生活を安心して過ごせる環境づくりの推進～

国土強靱化・地震防災戦略の推進

1,340,069千円

(△458,589千円)

大規模な災害が発生しても市民の生命や財産を確実に守るため、各種防災計画の推進、防災行政無線等の情報伝達機能の強化等により防災対策を図ります。

また、自らの生命は自ら守る意識の向上や、災害時に地域で助け合えるしくみづくりを行い、地域における自助・共助（互助）による防災・減災の取組を推進します。

★ 地域防災力の強化に向けた取組の推進

- ・各区複数回の総合防災訓練の実施
- ・「防災から始まる、力強いまち」の実現に向けた全市的な防災啓発
- ・自主防災組織への支援
- ・様々な災害形態に迅速に対応できるような体制の整備や各種防災計画の見直し

★ 防災行政無線等の再整備

- ・各種防災無線及びシステムの再整備による災害通信体制の機能向上



区総合防災訓練の様子

⑨…新規事業 ⑩…拡充事業

※金額の下段かっこ書きは対前年度増減額

まち全体の耐震化など

730,994 千円

(+54,249千円)

民間建築物等の耐震化の推進、密集市街地における不燃化建替えの推進等により、まち全体の耐震化などを図ります。

★ 民間建築物等の耐震化の推進

- ・通行障害建築物をはじめ特定建築物等の耐震診断や耐震改修工事への助成

★ 密集市街地の改善に向けた重点対策の推進

- ・不燃化推進条例に基づく老朽建築物の除却や耐火性能強化等への助成
- ・小田周辺地区での建替え等の促進に向けた取組の実施

災害時の拠点となる本庁舎等の建替え

2,470,129 千円

(+2,138,572千円)

本庁舎等について、市民の安全で安心な暮らしを確保するため、災害対策活動の中枢拠点として、高い耐震性能と業務継続性を確保した新本庁舎への建替えの取組を進めます。

★ 本庁舎等建替えの取組

- ・新本庁舎の整備（令和4年度完成予定）



新本庁舎完成イメージ

上下水道機能の安定確保

17,221,452 千円

(△1,319,769千円)

大規模災害時でも水道と下水道がしっかりと機能するように、施設の耐震化や老朽化した水道管路・下水管きよの更新を効率的に行うとともに、避難所となる小・中学校等に応急給水拠点を整備します。

★ 上下水道施設等の耐震化

- ・上下水道施設・管路・管きよ等の耐震化の推進
（令和4年度までに重要な水道管路及び配水池
・配水塔の耐震化を完了）

★ 応急給水拠点の整備

- ・既設給水栓を利用した開設不要型応急給水拠点の整備



気候変動への対応

4,228,650 千円

(+799,837千円)

地球温暖化対策の推進や大雨による水害を防止する施設の整備等により気候変動への対応を図ります。

★ **地球温暖化対策の推進** ④

- ・庁舎等建物内照明のLED化による、市役所からの温室効果ガス排出量の削減の推進

★ **五反田川放水路の整備**

- ・分流部施設整備工事等の推進
(令和2年6月 貯留式による暫定的な運用を開始)



エコ暮らしフェアの様子

★ **浸水シミュレーション等に基づく効果的な浸水対策の推進**

消防力の強化・救急医療体制の強化

1,724,345 千円

(△592,797千円)

消防署所の改築や、小型消防艇を整備するとともに、地域の消防団との連携も含めた強固な体制づくりを進めます。

★ **消防署所の整備** ③

- ・栗谷出張所の改築による、防災活動拠点の整備(令和3年度完成予定)

★ **消防艇の整備**

- ・小型消防艇(20トン未満)の建造

★ **消防団員の活動環境の充実強化** ④

- ・消防団員の年額報酬の改定 22,000円 → 36,500円
- ・消防団資機材の充実強化(救助ボート等の配備)



消防団員訓練の様子

安全対策によるまちの価値の向上

868,852 千円

(△1,017,384千円)

多様な主体との協働・連携による防犯対策の強化や、自主防犯活動団体への支援を行うなど、犯罪の未然防止に向けた取組を実施するとともに、鉄道事業者と連携した鉄道駅や駅周辺の安全対策を進めることにより、安全・安心なまちづくりを進めます。

★ **防犯カメラの設置支援**

★ **ESCO事業によるLED防犯灯の設置等の推進**

- ・防犯灯の計画的な維持管理や新規設置の実施

★ **かわさき安全・安心ネットワークシステムを活用した取組**

- ・地域における犯罪情報等の迅速な配信の実施

★ **鉄道事業者と連携した安全対策等の推進**

- ・鉄道主要駅におけるホームドアの設置に対する支援
- ・武蔵小杉駅及び駅周辺の交通機能の強化
(横須賀線武蔵小杉駅の新規改札口設計等)



東急東横線武蔵小杉駅のホームドア

戦略2 「どこよりも子育てしやすいまち」をめざす

～子どもを育てやすい環境づくり・

地域全体で子育てを支える環境づくりの推進～

待機児童の解消

77,492,518 千円

(+6,664,319千円)

待機児童の解消を図るため、認可保育所等の整備のほか、民間保育所職員等への総合的な処遇改善の推進、認可外保育施設等への支援の充実、保育士確保対策の充実等、保育の質の維持・向上を図りながら、あらゆる手法により取組を推進します。

★ 認可保育所受入枠の拡大 ④

373 か所 (29,000 人) → 395 か所 (30,460 人)

★ 地域型保育事業による受入枠の拡大 ④

69 か所 (885 人) → 78 か所 (1,033 人)

★ 保育士等の処遇改善の実施 ④

- ・経験年数7年目以上の職員を対象とした、国の処遇改善が的確に反映されるための保障を4万円に引上げ

★ 保育体制強化事業の実施 ④

- ・保育所及び認定こども園における園外活動時の園児の安全確保体制を支援

★ 認可外保育施設等への支援の充実

- ・川崎認定保育園における保育士の処遇改善及び防災対策の強化 ④
- ・病児・病後児保育施設における看護師・保育士の処遇改善の実施 ④
- ・認可化移行支援の実施
- ・ベビーシッター等に対する子育て支援員研修の実施 ④

★ 幼稚園における保育ニーズへの対応 ④

- ・認定こども園 10 園 (570 人) → 12 園 (720 人)

★ 保育士確保対策の推進

- ・就職相談会のマッチング機会の充実
及び遠隔地の学生等の誘致



★ 認可保育所等の整備

**1,492 人分（保育所 29 か所 1,435 人分、
小規模保育事業3か所 57 人分）**

※上記の新規整備のほか、川崎認定保育園の認可化・小規模保育事業化や既存保育所の定員増等により、令和3年度に向けて1,827人分の受入枠を拡大

★ 保育・子育て総合支援センターの整備

- ・中原区内（中原保育園・地域子育て支援センター） 建築工事
- ・宮前区内（土橋保育園・地域子育て支援センター） 基本・実施設計
- ・多摩区内（土淵保育園・地域子育て支援センター） 基本計画策定

小児医療費助成制度の充実

4,644,487 千円

(△69,982千円)

子どもの健全な育成や子育て家庭における経済的負担の軽減を図るため、入通院に係る医療費の自己負担分を助成します。

★ 小児医療費助成の実施

- ・通院医療費助成（小学校6年生まで）
※平成29年4月 助成対象年齢の小学校6年生までの引上げ
- ・入院医療費助成（中学校3年生まで）
※平成31年1月 所得制限廃止



子どもがすこやかに育つ安全な環境づくり

7,270,748 千円

(+14,510千円)

子どもがすこやかに安心して育つよう、児童虐待の未然防止や支援が必要な家庭・子どもへの専門的な支援体制を充実します。

★ 児童相談体制の強化に向けた施設整備 (新)

- ・中部児童相談所一時保護所の改築に向けた基本構想・基本計画の策定
- ・北部児童相談所の増築に向けた設計の実施

★ ひとり親家庭支援施策の推進

- ・ひとり親家庭の親と子の将来の自立に向けた支援を行うことを主な目標とした、経済的支援、生活・就労支援等の実施
- ・ひとり親家庭等の小学生及び中学生を対象とした学習支援等の実施 (拡)
(小学生 5か所 → 12か所、中学生 13か所 → 14か所)



オレンジリボンには子ども虐待を防止するというメッセージが込められています。

★ 小・中学校等における医療的ケアを必要とする児童生徒への支援

健康給食の推進

5,286,286 千円

(+ 439, 285 千円)

将来を担う児童生徒が、生涯健康な生活を送るために、小中9年間にわたる健康給食の取組を進めるとともに、学校給食を活用したさらなる食育の充実を推進します。

★ 川崎らしい特色ある健康給食の実施

- ・野菜を豊富に取り入れ、食材や味付けにこだわった健康的でおいしい給食の提供

★ 小中9年間にわたる体系的・計画的な食育の推進



中学校給食献立コンクール
市長賞受賞献立

地域の寺子屋の推進

89,636 千円

(+ 10, 243 千円)

地域ぐるみで子どもの学習や体験活動をサポートし、多世代で学ぶ生涯学習の拠点づくりを進めます。

★ 地域の寺子屋の開講 ㊦

新規開講 33 か所分



地域の寺子屋学習支援の様子

「分かる」授業の実現に向けた取組など教育改革の推進

766,562 千円

(+ 99, 978 千円)

子どもたちの生涯にわたる学びや暮らしの基礎となる「生きる力」を伸ばし、学ぶ意欲や態度を育むことを大切にしながら「確かな学力」を育みます。

★ 「キャリア在り方生き方教育」の推進

- ・全校での将来の社会的自立に必要な能力・態度と共生・協働の精神の育成
- ・子どもたちが主体的に学びに向かう力を育む「キャリア・パスポート」の作成 ㊦

★ 新学習指導要領を踏まえた英語教育の充実

- ・小学校における英語の教科化等に対応した指導体制の整備
- ・ALT（外国語指導助手）の増員 ㊦

101 人 → 113 人

★ 学校図書館の充実 ㊦

- ・小学校へ学校司書を配置

35 校 → 42 校



学校施設的环境整備

7,740,152 千円

(△10,127,282千円)

(※令和元年度補正予算対応 14,908,272千円)

学校施設長期保全計画に基づく学校施設の改修により、安全で快適な教育環境を確保するとともに、早期に学校トイレの快適化を進めます。また、児童生徒の増加に対応するため、校舎の増築や小学校新設に向けた取組を推進します。

★ 学校施設長期保全に向けた取組

校舎 **23校** 【補正含む】
体育館 **9校** 【補正含む】

★ 学校トイレの改修 ④

工事実施 30校

→ **45校** 【補正含む】

(令和4年度までに全市立学校のトイレの快適化を実施)



再生整備実施：宿河原小学校

★ 新川崎地区における小学校新設に向けた取組

戦略3 「みんなが生き生きと暮らせるまち」をめざす

～健康寿命の延伸と安心して暮らし続けられるしくみづくりの推進～

総合的なケアの推進

9,805,854 千円

(+4,770,309千円)

誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で安心して暮らし続けることができる地域を実現するため、「地域包括ケアシステム推進ビジョン」に基づく取組を推進します。また、介護サービス、障害福祉サービスの基盤整備に向けた取組を推進します。

★ 地域包括ケアシステムの構築に向けた取組

★ 川崎市福祉センター跡地活用施設の整備

- ・総合リハビリテーション推進センター等の整備（令和3年度開設予定）

★ 介護サービス・障害福祉サービス基盤の整備

- ・特別養護老人ホームの整備（令和2年度1か所開設予定）
- ・障害者入所施設の整備（令和2年度1か所開設予定）

★ 市立看護短期大学の四年制大学化に向けた取組

- ・大学設置認可申請に向けた取組や施設整備の推進（令和4年度開学予定）

健康寿命の延伸に向けた取組

2,379,820 千円

(+239,809千円)

健康的な状態で長生きができるよう、国民病ともいふべき「がん」や生活習慣病を予防するため、がん検診等の受診率向上の取組を推進するとともに、介護サービスの質を評価する取組を実施します。

★ がん検診の受診率向上に向けた取組

★ かわさき健幸福寿プロジェクトの推進

- ・要介護度等の改善・維持の成果を上げた介護サービス事業所にインセンティブを付与する取組の実施



介護予防いきいき大作戦
マスコットキャラクター「長寿郎」

超高齢社会を見据えた住宅施策

3,449,481 千円

(+2,179,536千円)

誰もが安心して暮らせる住まいの確保等を図るため、住宅の質の向上や既存住宅の再生・利活用を促進するとともに、高齢者等に適した住宅の供給と入居支援、地域包括ケアシステムと連携した市営住宅の活用等を推進します。

★ 社会経済状況の変化に対応した住宅施策の推進

- ・空き家利活用の促進に向けた支援制度の実施

★ 民間賃貸住宅等を活用した居住支援

★ 市営住宅の建替えや地域包括ケアシステムと連携した取組

- ・「市営住宅等ストック総合活用計画」に基づく建替えや敷地及び建物の活用推進



空き家活用事例
「みどり町会サロン」

コンパクトで暮らしやすいまちづくり

1,434,511 千円

(△341,284千円)

鉄道による地域分断の改善や踏切を横断する駅利用者の安全を確保するとともに、高齢化の進展や社会状況の変化等を踏まえた路線バスネットワークの充実に向けた取組やコミュニティ交通の支援等を行います。

★ JR南武線の駅アクセス向上に向けた取組

- ・稲田堤駅（令和5年度完成予定）及び津田山駅（令和2年度完成予定）の橋上駅舎・自由通路の整備



JR南武線稲田堤駅
完成イメージ

★ 路線バスネットワークの充実に向けた取組

- ・既存路線の利用実態調査の実施
- ・利用実態調査の分析及び路線バスネットワークの充実に向けた方向性の取りまとめ

★ コミュニティ交通の支援

- ・本格運行地区（高石、長尾台）等における継続的な取組支援

★ シェアサイクル実証実験の実施

- ・登戸・向ヶ丘遊園駅周辺エリアと殿町・大師河原エリアにおいて実施

戦略4 「もっと便利で快適な住みやすいまち」をめざす

～広域拠点・地域生活拠点等の整備による

鉄道駅を中心とした便利で快適な暮らしの実現など～

川崎駅周辺の整備

110,077 千円
(**△98,595 千円**)

民間活力を活かしながら、本市の玄関口としてふさわしい都市機能の誘導・都市基盤の整備等を進めます。

★ 京急川崎駅周辺のまちづくりの推進

- ・民間開発の誘導と都市基盤の再編整備の推進

小杉駅周辺の整備

463,624 千円
(**△1,912,135 千円**)

民間開発の適切な誘導と支援により、商業・業務施設、公共施設、都市型住宅等がコンパクトに集積し、個性と魅力にあふれた広域拠点の形成を推進します。

★ 小杉町3丁目東地区市街地再開発事業の推進 (令和2年度完成予定)

★ 小杉駅周辺における民間開発の誘導等



小杉町3丁目東地区
市街地再開発事業
完成イメージ

新百合ヶ丘駅周辺の整備

6,000 千円
(**増減なし**)

横浜市高速鉄道3号線延伸計画など、周辺環境等の変化を見据えたまちづくりを推進します。

★ 新百合ヶ丘駅周辺まちづくり方針の策定に向けた検討

地域生活拠点等の整備

8,184,004 千円

(△253,919千円)

鉄道駅を中心とした商業、業務、都市型住宅等の機能の集積や交通結節機能の強化など民間開発の適切な誘導と支援により、都市機能がコンパクトに集約した都市拠点の形成を図ります。

★ 登戸土地区画整理事業の推進

★ 鷺沼駅前地区市街地再開発事業の推進 ㊦

- ・再開発事業の組合設立に向けた取組の推進（令和3年度工事着手予定）

★ 柿生駅前南地区の再開発事業の推進

- ・再開発事業に関する都市計画手続の推進

幹線道路網の整備・局所的な渋滞対策

16,161,057 千円

(+6,393,718千円)

道路交通の円滑化や渋滞緩和に向け、効率的・効果的に都市計画道路等の整備や連続立体交差事業等を推進します。

★ 都市計画道路等の整備

★ 緊急渋滞対策の推進

★ 国道357号などの国直轄道路の整備促進

★ 京浜急行大師線の連続立体交差事業の推進

★ JR南武線の連続立体交差事業の事業化に向けた取組の推進

★ （仮称）等々力大橋・末吉橋の整備



鉄道ネットワークの形成

113,080 千円

(+11,256千円)

鉄道ネットワークの形成に向け、鉄道事業者等と連携した取組を推進します。

★ 横浜市高速鉄道3号線延伸に向けた取組の推進 ㊦

- ・延伸の概略ルート・駅位置を踏まえ、新百合ヶ丘駅における乗換経路の検討等を推進

緑と水の循環形成

1,241,661 千円

(+289,716千円)

多摩川や多摩丘陵などの自然や農地を保全するとともに、都市公園や緑地などの整備を進め、うるおいのある豊かな市民生活の実現を図ります。

★ 多摩川の魅力を活かす取組の推進

★ 大規模な公園緑地の整備

★ 魅力的な公園の整備

★ 農地の保全・活用と「農」とのふれあいの推進 ⑧

- ・特定生産緑地の指定の推進

◎ 協働の取組による緑の創出と育成の推進 ⑨

- ◆都市における新たな緑の価値の創造をめざし、令和6年度の全国都市緑化フェアの開催に向け、基本構想の策定などに取り組みます。

(7,000千円)

身近な公園のパークマネジメント

3,000千円

(増減なし)

民間活力の導入や地域との連携により、公園緑地のさらなる魅力向上や、効率的・効果的な管理運営の推進を図ります。

★ 公園緑地等の管理運営の推進

公共空間の有効活用

10,003千円

(+5,003千円)

都市拠点整備の進展をとらえ、道路などの公共空間を有効活用し、にぎわいの創出を図ります。

★ 川崎駅周辺の公共空間の有効活用に向けた取組の推進

- ・川崎駅周辺地区における公共空間の活用に向けた環境整備の実施



公共空間（道路）を有効活用したイベント

持続可能な循環型のまちづくり

10,168,073千円

(+4,246,085千円)

より一層の環境負荷の低減を図るため、廃棄物の3R（発生抑制、再使用、再生利用）に取り組みながら、発生した廃棄物を適正に処理するため、処理施設を安定的に稼働させるとともに、長期的な視点で適切な更新を進めます。

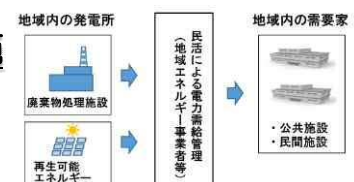
★ 資源化処理の推進

★ ごみの適正かつ安定的な焼却処理

★ 処理施設の安定的な運営及び建替えの実施

★ 廃棄物発電の有効活用に向けた取組 ⑩

- ・廃棄物発電の有効活用に向け、民間活用の検討等、最適な手法を導入するための調査及び検討の実施



廃棄物発電有効活用イメージ図

戦略5 「世界に輝き、技術と英知で、未来をひらくまち」をめざす

～先端技術等による環境と産業が調和したまちづくりの推進や、

中小企業や商店街を応援する取組～

国際化に対応したイノベーションの推進

491,231 千円

(△8,039千円)

様々な分野におけるイノベーション（革新）を推進するため、多様な主体による連携を図るとともに、イノベーション拠点の整備を推進します。

★ ライフ・グリーン・ウェルフェアイノベーションの推進

- ・ナノ医療イノベーションセンター（iCONM）の運営支援及び研究を促進する戦略的な取組
- ・環境ビジネスの国際展開の支援
- ・ウェルフェアイノベーションフォーラムによるプロジェクトの創出



ナノ医療イノベーションセンター（iCONM）

★ オープンイノベーションの推進

- ・「新川崎・創造のもり」において、かわさき新産業創造センター（KBIC、NANOBIC、AIRBIC）を拠点としたベンチャー企業の成長等を促進



産学交流・研究開発施設（AIRBIC）

★ Wi-Fi 環境の整備など ICT 施策の推進

- ・「かわさき Wi-Fi」の利用エリアの拡大
- ・「LINE」や「かわさきアプリ」を活用した情報発信 ㊦



臨海部の活性化

19,874,326 千円

(+1,801,569千円)

力強い産業都市づくりの中心的な役割を担う川崎臨海部の活性化に向け、「臨海部ビジョン」に基づき、高付加価値なものづくりや国際競争力の高い企業活動を支える操業環境の整備、殿町国際戦略拠点（キングスカイフロント）におけるイノベーションの創出、戦略的な土地利用の誘導などの取組を推進します。さらに、産業活動を支える交通や港湾機能の強化に取り組みます。

★ 臨海部の競争力強化 ㊦

- ・「臨海部ビジョン」に位置付けた新たな緑地創出制度の運用や企業の投資意欲を喚起する制度の構築等、リーディングプロジェクトの推進

★ 国際戦略拠点の形成・マネジメント

- ・キングスカイフロントにおける新たなクラスター運営体制の構築 (新)
- ・「エコシステム」の形成を目指した取組や交流・連携促進等の推進 (拡)
- ・キングスカイフロントの高水準・高機能な拠点整備

★ 戦略拠点の形成推進

- ・高度かつ最先端の研究開発や価値の創出を行う
新産業創出拠点の形成に向けた取組



空から見た川崎臨海部と羽田空港

★ 交通機能の強化

- ・新たな交通ネットワーク形成や通勤環境向上に向けた取組
- ・基幹的交通軸や交通結節点の整備に向けた取組 (拡)

★ 羽田連絡道路の整備

- ・キングスカイフロントと羽田空港周辺を結ぶ羽田連絡道路の整備の推進

★ 臨港道路東扇島水江町線の整備

★ 港湾物流機能の強化

- ・東扇島堀込部の土地造成に向けた取組
- ・川崎港コンテナターミナルの利用促進・活性化
に向けた取組



羽田連絡道路
完成イメージ

水素社会の実現

16,372 千円

(**△26,416 千円**)

水素社会の実現に向けて、「川崎水素戦略」に基づき、臨海部における水素供給システムの構築、多分野にわたる水素利用の拡大及び水素に対する社会認知度向上のための取組を推進します。

★ リーディングプロジェクトの推進

- ・国際的な水素サプライチェーンの構築実証※
- ・再生可能エネルギーと水素を用いた自立型エネルギー供給システム(H2One)実証事業
- ・使用済みプラスチック由来低炭素水素を活用した実証事業
- ・水素関連企業とのビジネス交流会の開催等による社会認知度向上に向けた取組



世界初の輸入水素を利用した水素発電の開始（東亜石油（株）敷地内の脱水素プラント）
※画像は AHEAD 提供

★ 川崎水素ネットワークの構築

- ・水素パイプライン等を活用した水素ネットワークの将来像の明確化
- ・新たな事業モデル創出に向けた取組の推進

※水素サプライチェーン：水素の「製造、貯蔵・輸送、利用」までの一連の流れ

中小企業の支援・商業の振興

20,940,511 千円

(△1,582,256千円)

中小企業活性化条例に基づき、地域経済の発展に大きく貢献する中小企業の技術力・製品開発力の強化や販路拡大・新事業創出の支援等、中小企業の活性化に向けた取組を行います。

★ 市内中小企業・商業等の支援

- ・研究開発型ベンチャーを対象とした伴走型支援プログラムの実施
- ・起業家支援拠点 K-NIC を運営し、ベンチャー企業の創出・成長を支援
- ・市内の準工業地域及び工業地域における中小製造業者の工場等の新增設や操業環境改善に対する支援
- ・中小企業者の事業承継の促進と、災害対応力を高め事業継続力を強化する取組の一体的支援 ㊦
- ・事業承継の円滑化やSDGsの取組を支援する融資制度の創設 ㊦
- ・地域特性に応じた活力ある商業振興の推進
- ・他の自治体等との連携による知的財産を活用した新製品開発等の支援

★ 中小企業の労働環境の改善

- ・求職者視点での働きやすい環境づくりに向けた働き方改革の支援 ㊦
- ・中小企業の福利厚生充実等による勤労者福祉施策の推進

都市農業の振興

18,162 千円

(△543千円)

持続的・自立的な農業経営を支援するため、地産地消の推進や農業経営の高度化及び新たな農業価値創造の取組等を推進します。

★ 都市農業振興施策の推進

- ・認定農業者等に対する経営基盤強化への支援
- ・企業や大学等、多様な主体との連携による都市農業活性化の取組



農業と多様な主体との連携イメージ

就業の支援

68,491 千円

(+6,814千円)

雇用のミスマッチ、若年無業者、就職氷河期世代等の課題に対応するため、雇用情勢等に合わせて、求職者のニーズに応じた就業支援を行います。

★ 総合的な就業支援の実施及び多様な人材活躍の推進

- ・キャリアサポートかわさきによる就業支援
- ・コネクションズかわさき等による若年無業者の職業的自立支援
- ・中小企業の若年者、女性及びシニア等多様な人材の確保・活躍支援 ㊦

戦略6 「みんなの心がつながるまち」をめざす

～東京 2020 オリンピック・パラリンピックを契機とした

スポーツ・文化芸術の振興、「心のバリアフリー」の推進など～

東京2020オリンピック・パラリンピックを契機としたまちづくり

813,721 千円
(△602,461千円)

東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会の開催を契機として、誰もが自分らしく暮らし、自己実現を目指せる地域づくりのためにかわさきパラムーブメントの取組を推進するとともに、大会に向けた英国事前キャンプの受入や機運の醸成、ホストタウンの取組や、若者文化の発信のためにイベントの支援や体験会などの開催、施設整備に向けた取組を推進します。

また、令和元年 12 月に制定した「川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例」に基づく施策を推進します。

★ 大会を契機とした「かわさきパラムーブメント」の推進

・理念の浸透に向けた事業展開

イベントの開催やロゴを活用したプロモーションなどの戦略的な広報により、多様な主体の参加を得ながら「かわさきパラムーブメント」の考え方を広く市民や事業者に向けて発信し、理念浸透を図ります。

・多様な主体の連携による推進

「かわさきパラムーブメント第2期推進ビジョン」に基づき、各種プロジェクトの推進を図るほか、市民活動の場を構築し、市民参加によるプロジェクトを展開します。

・障害者スポーツの推進 **④**

障害者のスポーツ体験機会の拡充などに取り組むことで、「かわさきパラムーブメント」を展開していきます。

★ 事前キャンプ受入及び機運醸成の推進 **④**

- ・英国オリンピック・パラリンピック代表チームの事前キャンプの受入及び運営支援に向けた取組を着実に進めるとともに、受入前から大会終了後までの期間を通じて、市民や事業者と一体となって、様々な英国応援や交流事業を展開します。



GO GB
(ゴー・ジービー：がんばれ、英国)
ロゴマーク

★ 東京 2020 大会の機運醸成に向けた取組 **④**

- ・7月1日に川崎市内を走行するオリンピック聖火リレーや、等々力陸上競技場で開催される出発式を、川崎らしい地域資源を活用して盛り上げます。
- ・パラリンピックの機運醸成と共生社会の実現に向けて、パラリンピック聖火フェスティバルを開催します。

★ 若者文化の発信

- ・若者文化の発信のための施設整備に向けた検討
- ・ダンスやBMX、スケートボード等のストリートカルチャーやエクストリームスポーツなどが結集した川崎発の世界的な大会開催の支援
- ・地域における認知度向上と機運醸成を図るため、デモンストレーションや体験会を開催 ⑧



「INTERNATIONAL STREET FESTIVAL KAWASAKI 2019」の様子

★ 平等と多様性を尊重した人権・平和施策の推進

- ・「川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例」に基づく施策の推進 ⑨
- ・「多文化共生社会」の実現に向けた、川崎区役所総合案内の多言語化などの取組の推進 ⑩

スポーツ・文化芸術の振興

5,671,680 千円

(+ 1,057,305 千円)

スポーツを通じた市民生活の充実と、スポーツ資源を活用したまちづくりを進めるとともに、多くの市民が文化芸術の楽しさを感じることができるよう文化芸術活動に参加しやすい環境づくりを進めます。

★ スポーツのまちづくりの推進

★ 音楽や映像のまちづくりの推進

- ・「音楽のまち・かわさき」推進協議会や「映像のまち・かわさき」推進フォーラムなどの関連団体とのより一層の連携のもと、市内の音楽や映像に関する資源を活用した取組を推進



★ 等々力緑地再編整備の推進

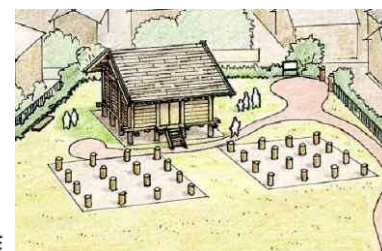
- ・野球場整備の推進（令和2年度完成予定）



等々力球場完成イメージ

★ 橘樹官衙遺跡群の保存・整備・活用の推進

- ・「国史跡橘樹官衙遺跡群保存活用計画」（平成29年度策定）に基づく史跡指定地の公有地化及び活用の推進
- ・「国史跡橘樹官衙遺跡群整備基本計画」（平成30年度策定）に基づく史跡整備の推進



橘樹官衙遺跡群整備イメージ
（保存活用計画）

協働により、心がつながるコミュニティづくり

2,985,833 千円
(+1,254,270千円)

誰もが暮らしやすく支えあえるコミュニティづくりのため、様々な主体の協働・連携のしくみをつくり、地域における多様なつながりを育みながら、市民自治と社会的包摂の進んだ、誰もが積極的に社会に参加できる環境づくりを進めます。

★ 多様な主体による協働・連携のしくみづくり ⑧

- ・「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づき多様な主体をつなぐコーディネート機能等を備えた区域レベルの拠点となる場「ソーシャルデザインセンター」創出の検討及びモデル事業の実施
- ・誰もが気軽に出会える地域の居場所「まちのひろば」創出に向けた取組

★ 町内会・自治会の活動を支える取組の推進 ⑧

- ・地域コミュニティ力向上に向けた町内会・自治会への加入促進
- ・町内会・自治会への負担軽減に向けた回覧物一括配送業務の展開



「まちのひろば」ロゴマーク

★ 地域の活動拠点としての学校施設の活用推進

- ・学校施設の更なる有効活用を図る取組の推進

シティプロモーションの推進

334,174 千円
(△14,446千円)

市民が愛着と誇りを持ち、誰もが訪れたい川崎を目指すため、地域資源を磨き上げるだけでなく、新たな地域資源の発掘・創出に取り組むとともに、川崎の魅力が広く伝わる戦略的なシティプロモーションを推進します。

★ 川崎の魅力を活かしたシティプロモーションの推進

- ・ブランドメッセージ等を活用した戦略的な情報発信

★ 川崎の特性を活かした観光の振興

- ・観光協会や民間事業者等と連携した取組
- ・キャッシュレス化の促進による観光客の受入環境の整備及び外国人観光客の動態分析に基づくプロモーションの取組
- ・東京2020オリンピック・パラリンピック大会を契機に増大が見込まれるインバウンド需要を確実に捉え、夜間における経済活動である「ナイトタイムエコノミー」を推進 ⑨



「川崎市観光ガイドブック 川崎日和り」

戦略7 「チャレンジを続け、いつまでも活力あふれるまち」 をめざす

～市役所全体の質的向上と持続可能なまちづくり～

行財政改革の推進

市民満足度の一層の向上に向け、必要な経営資源であるヒト・モノ・カネ・情報の確保等を行い、総合計画に掲げる政策・施策を着実に推進するため、市民サービスや市役所組織・職員の質の向上等の質的改革とともに、効率的・効果的な行財政運営に向けた改革を進めます。詳細は、30 ページ「5 行財政改革の取組」を参照してください。

市役所内部の働き方・仕事の進め方改革を推進しています

○働き方・仕事の進め方改革について

- ◆複雑化・多様化する本市の課題に対応していくため、これまで当たり前とっていた「働き方」と「仕事の進め方」を変えていくことで、職員一人ひとりのワーク・ライフ・バランスの実現と多様な働き方を可能とする職場づくりを進め、将来にわたり、よりよい市民サービスを安定的に提供していくことを目指します。
- ◆平成 29 年度より、年度ごとに策定する「川崎市働き方・仕事の進め方改革推進プログラム」に基づき、全庁的に次の取組を検討・推進しています。

○取組の概要

- ◆「制度・運用（ルール）」「ICT・設備（ツール）」「業務・組織運営（マネジメント）」「意識・風土（マインド）」という総合的な観点から、「職員の働く環境の整備と意識改革」「多様な働き方の推進」に取り組みます。

○取組の例

- ◆定時退庁日の設定、午後8時以降の時間外勤務の原則禁止
- ◆外部の専門的知見を活用した業務分析・改善
- ◆定型的・反復的業務の総務事務センターへの集約化
- ◆モバイルワーク・テレワークの試行、テレビ会議の利用、ペーパーレス化推進



区役所企画課長会議
(テレビ会議)の様子

健全な財政運営

少子高齢化の進展を見据えて、将来の負担を適正な水準に保ちながら、必要な市民サービスの提供と投資を行います。詳細は、143 ページ「今後の財政運営の基本的な考え方」を参照してください。

